

|                 |        |     |                      |
|-----------------|--------|-----|----------------------|
| 芦屋市の人口と面積       |        |     |                      |
| -平成2年10月1日推計人口- |        |     |                      |
| 人口総数            | 87,879 | 世帯数 | 32,419               |
| 男               | 41,228 |     |                      |
| 女               | 46,651 | 面積  | 17.31km <sup>2</sup> |

発行  
芦屋市役所(公聴広報課)  
☎0797-31-2121  
〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号  
毎月1日・15日発行

1990年(平成2年)  
11月15日号  
No.578

# 広報あしや

## 第1回富田碎花賞 東京の長田 弘さんへ

詩集『心の中にもっている問題』で受賞



長田 弘さん

詩人富田碎花は、デモクラシーの思想をいち早く日本詩壇に伝え、人間愛と自主の精神をうたいました。また、長く芦屋に住み、生涯にわたって幅広い文化活動を続け、「兵庫県文化の父」ともいわれ大きな足跡を残しました。本年は、富田碎花生誕百年にあたるとともに、芦屋市制施行五十周年・芦屋市教育委員会設置四十周年を迎えます。市ではこの機会に、その文学精神を広く紹介し、詩界の発展の一助とするとともに、市民文化の振興を願って、今年から「富田碎花賞」(主催・芦屋市、芦屋市教育委員会、後援・兵庫県、富田碎花顕彰会)を創設しました。

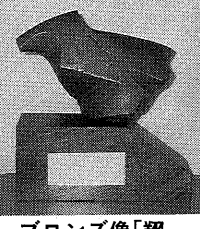
詩集の公募は、今年六月から七月末日まで行い、題「心の中にもっている問題」-詩人の父から子どもたちへの四十五篇の詩集に「言葉殺人事件」「深呼吸の必要」「食卓一期一会」「いずれも品文社」、主な著書に『詩人であること』(岩波書店)『笑う詩人』(人文書院)『失われた時代』(筑摩書房)などがあります。



山村市長からブロンズ像「翔」を受け取る長田さん

今回の受賞作品となった詩集『心の中にもっている問題』は、子どもたちがおとなになるまでの二十年の長い間、人が心の中にもっている問題を、ひとりの父親の言葉として

- 井上 靖氏(作家・日本芸術院会員)  
小野十三郎氏(詩人・大阪文学学校校長)  
委員 上林 敏夫氏(詩人・前日本現代詩人会会長)  
杉山平一氏(詩人・帝塚山学院短大名誉教授)  
永瀬清子氏(詩人・岡山県詩人協会会長)



ブロンズ像「翔」

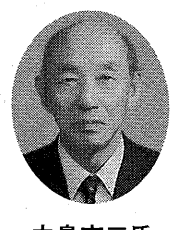
てまとめられています。次の年代に対するメッセージがうかがえます。選考では、詩集の内容の豊かさが抜き出ており、人間の根源の哲学をもつものとして、第一回「富田碎花賞」にふさわしく、優れた作品として評価されました。

【ブロンズ像「翔」】  
富田碎花処女詩集『末日頌』の「翼」と題する詩からイメージして製作したものです。(製作・納 健氏)  
問い合わせは、市教育委員会文化財担当(☎9066)へ。

### 市制50周年記念写真集 「芦屋のうつりかわり」を全戸配布

市では、市制施行五十周年記念の写真集「芦屋のうつりかわり」(A4版、136ページ)を全世帯に配布します。

写真集は、市民の皆さんからご提供いただいた写真をはじめ、精道村時代から現在までの約三百六十点を掲載しています。配布は、今月中旬から十二月初旬に行います。問い合わせは、市公聴広報課(☎212121内線227)へ。



中島市三氏



住吉 武氏

第24回市民文化賞  
中島さん(協)・住吉さん(唱)と伊藤文化財団へ

今年度の第二十四回芦屋市市民文化賞に、個人の部で中島市三氏と住吉武氏、団体の部で財団法人伊藤文化財団が選ばれ、三日「文化の日」に市民センターで贈呈式が行われました。

この賞は、学術・文化・文学・教育などの研究や実践、芸術・芸能・体育等の向上・発展に貢献されたかた、また地域社会の発展につくされ、その功績が顕著なかたに市民の感謝をこめて贈呈するものです。

中島市三氏(芦屋市体育協会常任顧問、船戸町在住、七十八歳)  
昭和二十二年芦屋市陸上競技協会発足以来、常に先頭に立ち、陸上競技の振興に努力し、阪神地区駅伝大会の開催に尽力されました。

市体育協会副会長も歴任し本市社会体育に多大な功績を残されました。住吉 武氏(芦屋少年少女合唱団団長、東山町在住、六十四歳)  
精道中学校在職中から音楽の指導者として活躍し、昭和三十四・三十五年、昭和五十七年に全国コンクールに優勝、芦屋市の音楽教育の向上に貢献されました。昭和五十三年芦屋少年少女合唱団を創設、その指導・育成に尽力されました。現在、合唱団は七十人以上の団員を擁し、

合唱歌や各種コンサートに出場し活躍しています。伊藤文化財団(昭和五十六年設立、神戸市)民間の立場から、芸術文化の発展に寄与するという設立の主旨から、昭和五十六年に市民文化振興基金へ多額の寄付をされ、また、昭和五十七年から、芦屋市ルナ・ホール協会へ毎年浄財をご寄付いただいています。優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供、芦屋市民の文化の振興に貢献されました。



写真集「芦屋のうつりかわり」

### 市制50周年に思う

さくらまつりを皮切りにスタートした市制施行五十周年事業も、先日の記念式典で最高潮に達しました。関係者や市民各位のご支援、ご協力を得て芦屋の未来を象徴する祝典が立派に開催できて、感謝の気持ちと満足感で一杯です。胸にこみ上げてくるものがあります。

二年前に五十周年事業のあり方について広く各界代表のご意見を聞き、市民懇話会を設置し、協議してまいりました。また、今年三月には、市制五十周年を祝う会が設立され、各種事業に対する

生んだ吉原治良氏が、芦屋に美術協会を創立された昭和二十三年からの宿願であり、協会関係者・美術愛好者に熱望されたものです。美術文化の土壌が不十分な時代に、全国ブランドの市展や重美展を育んできたように、新設の美術博物館を拠点に、芦屋文化の創造・発展がはかれるよう、また市民の皆さまに愛されるよう願っています。

市役所増築庁舎も記念事業として立派に完成しました。さらに、二期・三期の工事を進め、市役所周辺の環境整備も進め、三十年前、市制二十周年の記念事業として現庁舎の竣工式を、そしてこ



市長随想

康六の記  
38

のたびと二度にわたる庁舎の竣工は、市役所に育った私にとって、感慨ひとしおのものがあります。まもなく、市制施行五十周年記念写真集「芦屋のうつりかわり」を各ご家庭に記念品としてお届けします。精道村時代から今日の芦屋を築いていただいた先人のご苦労が写真集から偲ばれます。

業平公園の記念のモニユメントのカブセルは、五十年後に開けられます。そのとき、良い芦屋を残してくれたと感謝して、また、芦屋を次代に引き継ぎたいと思いを新たにしています。

(芦屋市長 山村康六)

# 教育・文化 テーマに

要旨

## ボーダーレスの時代に 生きる「世界市民」とは

まず、司会の下村氏が「私たちが今住んでいる世界は、急激にボーダーレスの時代になってきている。その中でどのような価値観を持って生きていくべきか」と問題提起がなされた。

高坂氏は「国際政治は、多極化している。ボーダーレスといわれているが、国境はなくなるのではない。国の中にも分断があり、日本はそのことを理解し、使いつけていく能力を身につけていかなければならない」と指摘した。

ホドソン氏は、「国際的には、経済だけがボーダーレスになっており、政治や文化はそうならない。経済は、スピードが速く、そこにギャップができてきている。日本もその差を埋めていく努力が必要だ」と述べた。

また、高坂氏は国際政治の面から「日本は、国際的に経済で成功しているが、それだけではダメ。文化など他のことで」

十月二十四日(水)、ルナ・ホールで「国際シンポジウム90」が開催され、三時間におよぶ討論に約六百五十人の市民の皆さんが熱心に聞き入っていました。

このシンポジウムは、「二十一世紀への価値観の大転換期である現在、地球は一つのユニットになり、今後お互いに平和と共存していくコトを身に付ける必要がある、そのためには教育がベースになる」というテーマで行われました。

パネリストから教育を軸に校門圧死事件や国際交流、宗教など幅広い発言があり、三時間にわたる中味の濃いシンポジウムとなりました。

ここではそのあらましをご紹介します。

問い合わせは、市企画課市制50周年事業担当 (☎02121内線204)。

この模様は、CCA加入のご家庭や市の公共施設に生中継されました。また、CNNニュースとして取り上げられ、世界中に報道されました。この内容を録画したビデオ・テープをご希望のかたに貸し出しします。お問い合わせは、市公聴広報課へ。

### 出席者

【日本側】  
ドナルド・キーン氏、コロンビア大学教授 (日本文学)  
高坂正堯氏、京都大学法学部教授 (国際政治学)  
利根川進氏、マサチューセッツ工科大学教授 (ノーベル医学生理学賞受賞)  
【アメリカ側】  
ジェームス・D・ホドソン氏、元駐日大使  
ドウス昌代氏、ノンフィクション作家  
【司会】  
下村満子氏、朝日ジャーナル編集長

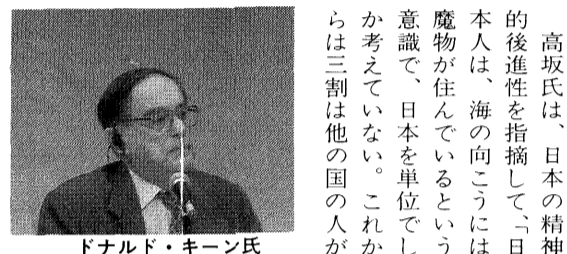


高坂正堯氏

高坂氏は、「物と人の往来がボーダーレスになっている中、日本には世界の中の日本という自覚がなく、国としてのビジョンがない。国際的に摩擦が生じ始めた。中東の湾岸危機では、日本のビジョンを世界に示すチャンスであった。」

日本は平和を敗戦という経験によって得ており、そのビジョンは諸外国からも受け入れやすいものとなっている。いまこそ日本が積極的な平和のために動くべきである」と述べた。

## 真の国際人づくりを 目指して何をなすべきか



ドナルド・キーン氏

高坂氏は、日本の精神的後進性を指摘して、「日本人は、海の向こうには魔物が住んでいるという意識で、日本を単位でしか考えていない。これからは三割は他の国の人が」

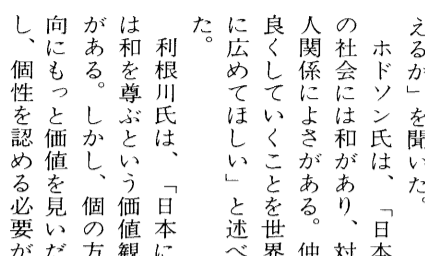
四十年来日本で生活しているキーン氏は、「私は戦時中日本語を覚えて、中国の猿まねでしかない」という評価がなかった。今の変化は誰も予想できなかった。今は日本語を学ぶ人は世界中にたくさんいる。話した。そして、キーン氏は、日本の国際人づくりに「日本の



ドウス昌代氏

価値観の多様化が進む国際社会の中で、日本の教育のこれからのあり方について、ドウス氏は、「英語は世界の共通語だが英語を身につけると国際人になるかというところが別。日本の教育は個性を殺している。金太郎あめのように画一の人物づくりでは未来が心配ならない。女性ももっと多様な生き方をしていけば、日本の価値観の多様化がすすむのではないかと指摘した。」

## 地球社会に生きるための 教育はどうあるべきか



ジェームス・D・ホドソン氏

最後に、「次代を担う子どもたちに何をどう教えるか」を聞いた。

ホドソン氏は、「日本の社会には和があり、対人関係によさがある。仲良くしていくことを世界に広めてほしい」と述べた。

利根川氏は、「日本には和を尊ぶという価値観がある。しかし、個の方が向いていくと価値を見いだす、個性を認める必要がある。」



利根川進氏

高坂氏は、留學生の成績はトップである。いところがある。創造性を高める。規律をゆるめるとか工夫を

## 日本人である前に "私"であるべき

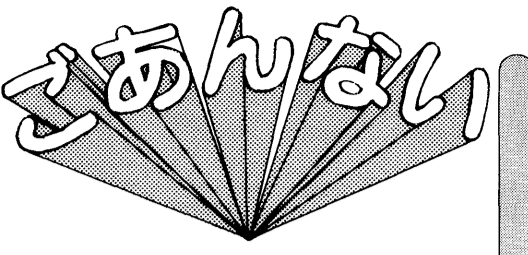
司会 下村満子氏



の視点がない。他の視角も持って、相手のいたまもわかるようにならない。教育にも多様な見方、価値観、宗教、信念を大切にする柔軟性がある。日本人である前に私であるべきだ」とまとめた。

このため、12月定例会から、開議30分前に発行の55歳以上のかたの定員50人費用：3万円と課税課金に高年福祉課(☎2121内線338)

第6回定例会市議会日程  
12月3日(月) 本会議  
開会 議案説明等  
12月4日(火) 17日(金) 常任委員会 議案審査  
12月11日(火) 本会議  
12月12日(水) 本会議  
12月13日(木) 本会議  
12月20日(木) 本会議  
委員報告、討論、採決、閉会  
なお、市庁舎の増築棟完成に伴い、議場の傍聴席は65席(現行67席)となります。



### お知らせ

保育所アルバイト希望者の登録  
市立保育所の臨時保育員希望者(有資格者)は登録を受けています  
【臨時保育】勤務時間

自動車文庫巡回ステーション新設  
12月から毎月1回(13時55分)14時20分、阪急バス(奥池)バス停横に開設します。12月の巡回日は20日(木)です。ご利用ください。

老人健康相談  
日時：11月22日(木) 14時16時  
会場：福祉会館  
内容：専門医師による相談、助言、問合わせ：社会福祉協議会 (☎7530)

ひよご実年大学講座  
日程：12月3日・7日(4泊5日)  
会場：六甲保養荘  
内容：高齢期の生活生計や社会活動への参加等の講義やグループ討議、文化施設等の見学

児童扶養手当証書を  
お渡しします  
8月にお預かりしました証書を11月末までにお渡しします。手当ては12月11日から郵便局で受け取るができます(口座振振り込みの場合は12月18日)

個人事業税第2期分の納期  
納期は11月30日(金)です。  
問い合わせは、西宮財務事務所直税課 (☎0798-231778 内線216) へ。

## 肇慶市・市民友好観光団募集

市では、市制施行50周年を記念して、友好を深めている中国広東省肇慶市への市民友好観光団を募集します。

世界でも有数の国際都市香港から、中国で最も美しい街に数えられる桂林、広州。そして中国四大名所の至宝といわれる端溪硯で有名な肇慶市へ。ドラマチックな景勝地の観光、本場の中国料理、楽しいショッピングに加え、肇慶市の人々とのふれあいを深めるゆったりとしたなかにももりだくさんの楽しい旅へお出かけください。

### 募集要項

旅行代金 217,000円  
旅行期間 平成3年1月27日(日)～2月2日(土) 24人  
募集人員 全行程に2人同行  
添乗員 全行程食付  
食料 東急観光(株)  
旅行社 東急観光(株)  
募集期間 11月19日(月)～12月15日(土)  
[芦屋市民を優先し、定員になり次第締め切ります。]  
申し込み 市生活文化課 (☎2121内線232) 申し込み

### 日程表

| 日数 | 期     | 間   | 地  | 名  | 交通機関      | 滞在               | 子     | 定 |
|----|-------|-----|----|----|-----------|------------------|-------|---|
| 1  | 1月27日 | (日) | 大香 | 阪港 | 飛行機       | アバディーン水上レストランで夕食 | (香港泊) |   |
| 2  | 1月28日 | (月) | 香港 | 肇慶 | ホーパークラフト  | 肇慶市表敬訪問          | (肇慶泊) |   |
| 3  | 1月29日 | (火) | 肇慶 | 肇慶 | バス        | 肇慶市内見学           | (肇慶泊) |   |
| 4  | 1月30日 | (水) | 肇慶 | 廣林 | バス<br>飛行機 | 広州市内見学           | (桂林泊) |   |
| 5  | 1月31日 | (木) | 桂林 | 桂林 | 船         | 漓江下り             | (桂林泊) |   |
| 6  | 2月1日  | (金) | 桂林 | 香港 | 飛行機       | 桂林市内見学           | (香港泊) |   |
| 7  | 2月2日  | (土) | 香港 | 香港 | 飛行機       |                  |       |   |

宝石岩と五龍亭および星湖全景

## 読書講座 「一葉にみる明治の女たち」

「にこりえ」や「たけくらべ」などの作品を通して、庶民の生活の中にある貧しさ、苦しさ、はかなさを描いた樋口一葉の人間観をその文学の中に学んでみませんか。

日程…11/30、12/14、12/21 (いずれも金曜)  
時間…14:00～15:30  
会場…市民センター講義室  
講師…井上共子氏 (夙川学院短期大学教授)  
定員…60人  
受講料…無料  
申し込み…11月15日から、市民センター教育事業係に米箱または、はがき(住所・氏名・年齢・電話番号を記入)で。電話受付可  
市民センター(柴平町8-24、☎4995)

## こちら内線325番 消費生活センターです

(市庁舎経済課内☎2121)

### 市内店舗の物価調査から

7月～9月の平均

★芦屋市消費生活センターが、市内の12店舗(市場・スーパー・百貨店・その他)で、食料品を中心とした17品目の価格を調査しました。暮らしの参考に役立ててください。

★左図は、12店舗を7月～9月の平均価格と比較して、価格の低い店舗第5位までを表示しています。

★調査品目は▽生鮮野菜(きゅうり、じゃがいも、たまねぎ、にんじん、大根、キャベツ)▽肉類(牛肉、豚肉、鶏肉)▽乳卵類(鶏卵、牛乳、バター)▽油脂・調味料等(砂糖、しょうゆ、サラダ油、マヨネーズ、小麦粉)

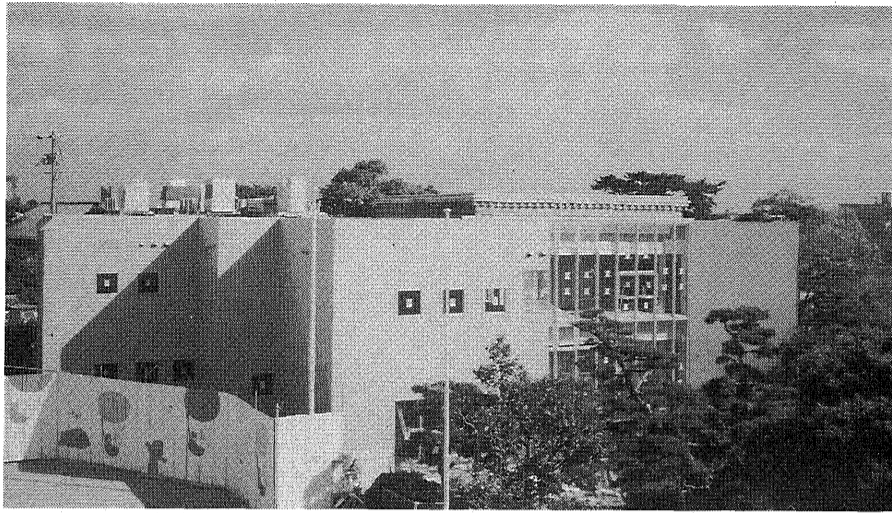
★生鮮野菜は、品質・鮮度が同程度のものを調査するように努めています。同じ等級品での調査ではありませぬ。なお、油脂・調味料等は商品名を指定して、同一のものを調査しています。

★前回(4月～6月)の市内平均価格は100・0としますと、今回の市内平均価格は100・二・六になり、昨年同時と比較すると一〇・五・〇になります。

市場 △ スーパー □ 生協 ○ その他  
平均価格が低かった店舗

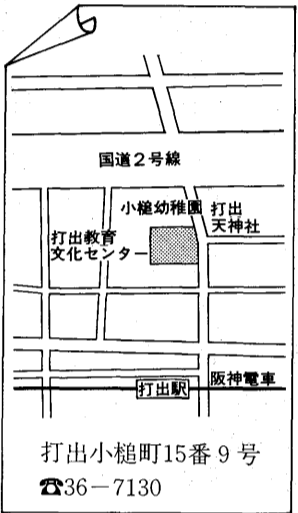
# 打出教育文化センター

## —教育委員会設置40周年記念事業— オープンせまる

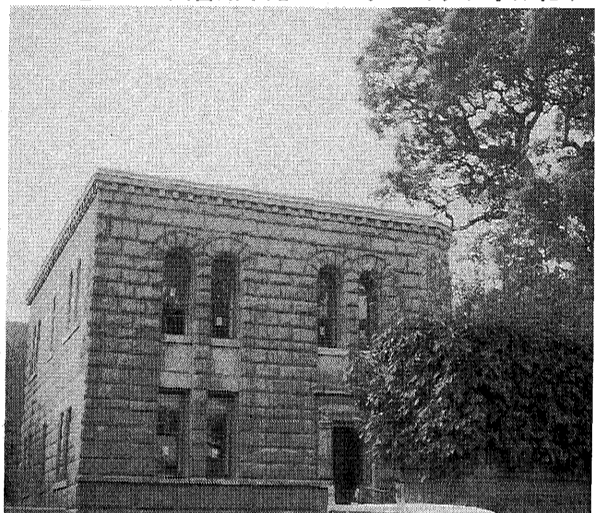


▲ 幼稚園側から見た明るく楽しい色彩の新築部分

石造りの旧図書館本館はセンターのシンボルに▼



打出小槌町15番9号  
☎36-7130



市制施行五十周年と教育委員会設置四十周年を記念した事業として、打出小槌町の旧図書館跡に建設をすすめてきた市立打出教育文化センターが完成し来月オープンします。二階建ての建物を新築するとともに、アーチ窓をもった石造りの旧図書館本館を貴重な建築物として改装して活用します。また、生け垣や門、日本庭園はそのまま残り、ゆとりとるおいをもった施設になるように配慮しました。その概要がまとまりましたので紹介します。

### 教育資料センターに

打出教育文化センターは、教育研究所として全国の主な道府県・都市の教育研究所と交流があります。そこでまとめられた教育関係資料や教育研究の成果や、各学校の研究発表の資料を整理し保管します。

また、教科書や各地でもまとめられた副読本なども保管しています。このように教育資料センターとして、例えば市内の先

### 研究や研修の場として

教育の内容と授業の質を高めるために、先生方のグループの研究活動や研修を行う場になります。そのために、教材制作室、理科実験室を完備して

います。

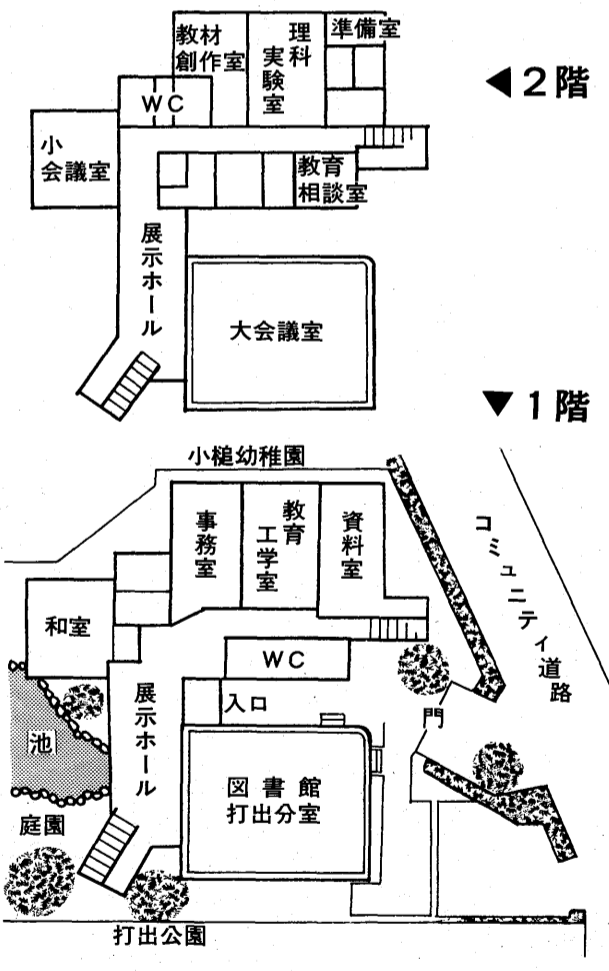
生方が授業に資料が必要な場合、提供できるようにします。また、芦屋の自然や歴史などのスライドやビデオの資料も製作・保存し提供します。

### 展示事業も

十月十五日号でお知らせした教育研究所で行っている教育相談は、専用の教育相談室を設けたため、落ち着いた雰囲気での面談することができるようになります。

池をかこんだ和風庭園が一望できる絵ガラス張りの展示ホールでは、各

## 打出教育文化センター



### 展示事業も

池をかこんだ和風庭園が一望できる絵ガラス張りの展示ホールでは、各

### パソコンも教育に利用

教育工芸室にはパソコンを設置し、中学校の技術・家庭科に新しくとり入れられる情報教育の研究ができるようになります。また、パソコンを教育に

### ハイテク会議室も

ビデオプロジェクトや教材提示装置を備えた大会議室をはじめ、小会議室、和室を備え、研究会をするほかは、地域の

### 図書館打出分室を併設

石造りの旧図書館一階部分に、図書館の打出分室がオープンします。この分室の蔵書数は約一万六千冊の予定ですが、い本や、借りたい本の予約もできます。開館日：毎週月・水・金・土曜日

このページは市教育委員会で編集しています。このページについてのおたずねは、市教育委員会学校教育課(☎212121内線511)まで。

●開館時間：午前10時30分～午後4時30分  
●休館日：火・木・日曜日、祝日、年末年始(12月28日～1月4日)  
●特別整理日(年間14日以内)  
●利用登録できる方：市内在住・在勤・在学者  
●貸出冊数等：一人4冊2週間以内  
●問い合わせは図書館(☎2301)へ。

芦屋市施行50周年記念事業  
芦屋市教育委員会設置40周年  
芦屋市ルナ・ホール協会発足20周年  
**雪をわたって...**  
—私たちはあの日森へいってみた—  
作/北村 想 演出/小林哲郎  
出演 劇団ふおるむ  
市民有志のかたがた



**ルナ・ホール**  
12月8日(土)3時・7時開演  
9日(日)1時開演  
■前売券(消費税込み)  
一般 2,000円(当日2,300円)  
高校生以下 1,700円(当日2,000円)  
親子ペア 3,300円(前売のみ)  
(開演1時間前より座席券と引換えます)  
この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。※前売券売り切れの場合は、当日券を発行致しませんので、上記扱いも中止となります。  
▷問い合わせ◁  
ルナ・ホール協会  
業平町8-24  
(☎31-4962)